

感染状況・医療提供体制の分析(10月12日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (9月28日時点)	現在の数値 (10月5日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	3869人 (206.1人)	3769人 (200.8人)	→	感染状況 コメント	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	516人 (13%)	475人 (13%)	→	新規陽性者は人口10万人当たり201人と不変。10歳代以下で4割近くを占める。 連休による影響か、新規陽性者数は下げ止まり。基本的感染防止策の継続が必要。また、ワクチン接種や感染により獲得した免疫は経時的に減少していると思われるので、オミクロン株対応ワクチン接種検討を。更に、同時流行が予想される季節性インフルエンザのワクチン接種も必要となる。	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	1507人	1380人	→		
		倉敷市保健所	814人	710人	→		
		備前保健所	265人	286人	→		
		備中保健所	659人	741人	→		
		備北保健所	188人	220人	→		
		真庭保健所	81人	98人	→		
		美作保健所	272人	241人	→		
その他	83人	93人	→				
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)		137人 (22%)	118人 (19%)	→	医療提供 体制コメント	レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる
	④宿泊療養者数		50人	32人	→	新規感染者の減少が継続したことから、入院患者数や療養者数も減少。医療提供体制への負荷は緩和されつつある。	
	⑤自宅療養者数		3707人	3273人	→		
	⑥重症者数		4人	4人	→		